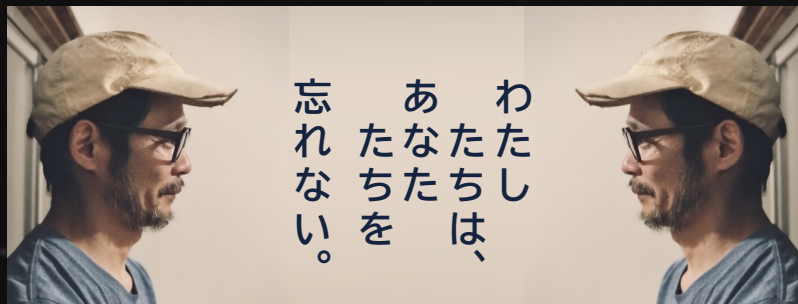




山崎樹一郎監督と



山中一揆を題材とした映画「新しき民」(2014)脚本・監督
映画「やまぶき」(2022)ロッテルダム、カンヌ映画祭上映

ともに山中一揆を 「演劇」で語り継ぐ

演者15名程度、スタッフ10名程度 締切:7月25日(金)
問い合わせ 真庭市湯原振興局 0867・62・2011



山中一揆三百年

【主催】 山中一揆義民顕彰会
【共催】 真庭市・真庭市教育委員会
【助成】 (公財)真庭エスパス文化振興財団

参加者募集



山中一揆
さんちゅう・いっき
演劇WS
ワークショップ

山中一揆三百年 記念事業



～わたしたちは、あなたたちを忘れない。～

山中一揆 演劇・WS(ワークショップ)

真庭の大切な歴史である山中一揆から300年の大きな節目にあたり、生きるために立ち上がった数千の民衆、51名の義民、行きすぎた権力に対する反省、それらを忘れることなく歴史と記憶を引き継ぐことを目的に山中一揆を演劇化します。

演劇は1回あたり30～40分で、役者やスタッフは市内外から募り、台本・演出は真庭市在住の映画監督、山崎樹一郎がワークショップ形式で行い、2025年10月、2026年5月、11月の3回公演を予定しています。

今回、1回目(2025年10月)の演劇に向けたワークショップの参加者を募集します。

演劇の内容については、集まった参加者と講師が共に考えて進めていきます。

山中一揆を知って、一緒に演劇をつくりたい人なら誰でもご応募ください。

演劇ワークショップへの参加をご希望の方は、右記募集要項及び申込フォーム内の個人情報取り扱い方針・注意事項を確認・同意の上、ご応募ください。

参加者募集 <募集要項>

- 【日時】 2025年8月～9月の週末で5回程度
【会場】 湯原ふれあいセンター等
※日時、場所は、集まった参加者の年齢や居住地により検討します。
- 【定員】 ①演劇に参加する出演者…15名程度
②舞台美術・音響・照明・制作などに関わるスタッフ…10名程度
- 【応募資格】 ・小学生以上の方
・日本語でのコミュニケーションが可能な方
・住所・性別・演劇経験は問いません
※18歳未満の方は、必ず保護者の方に同意を得て応募してください。
- 【参加費】 無料
【応募方法】 申込フォームに次のことをご記入の上、ご送信ください。
①氏名(ふりがな)、②年齢、③性別
④住所、⑤電話番号、⑥メールアドレス
⑦顔写真、全身写真、⑧演技経験の有無、
⑨意気込みなど(自由記述)
- 【応募締切】 2025年7月25日(金)
【問合せ先】 真庭市湯原振興局地域振興課
〒717-0406 岡山県真庭市豊栄1515番地
Tel:0867-62-2011 Fax:0867-62-2097
Mail:chiiki_yb@city.maniwa.lg.jp
- 【その他】 第1回演劇公演は、2025年10月12日(日)
(会場:湯原地域)を予定しています。
本演劇は商業演劇ではありませんので、出演料等をお支払いするものではありません。



「演劇」で
語り継ぐ



山中一揆を



山崎樹一郎
監督と
ともに

講師プロフィール

山崎樹一郎(映画監督)

2006年に岡山県真庭市の山あいに移住し農業に携わりながら映画製作をはじめ。

最新作『やまぶき』(2022年)はロッテルダムやカンヌ国際映画祭でも上映され、第四回大島渚賞を受賞。



講師よりメッセージ

山中一揆をあたらしい切り口で捉え直したい。わたしたちが試みるのは、自然、土地、場所をめいっぱい信じるものづくり。実際に起こった場所(ここ)で一揆を演じ直すことで歴史を自覚的に踏み越えていくことになればおもしろい。参加者がフィールドワークと対話を通して山中一揆300年の節目に一つのクサビになるような新しい表現を提示できればと思う。

【主催】山中一揆義民顕彰会

【共催】真庭市・真庭市教育委員会

【助成】(公財)真庭エスパス文化振興財団